

主催事業実施状況

		講座名	内容	実施日	延べ回数	対象	延べ受講・参加者数
若者の居場所・仲間づくり・学習機会の提供	企画参加によるワークショップ	中高生・若者のびこの保健室inまなぽーと大原	中高生・若者自身のリプロダクティブ・ヘルス&ライツ（性と生殖に関する健康と権利）を保証し、心身ともに健全な育成を目指すワークショップを実施した。	6月20日	1	生徒・学生・支援者等	15
		おおはら保健室	東京都エイズ啓発拠点事業 HIV/AIDS情報ラウンジ ふぉーてぃーとの共催。新型コロナウイルス感染症予防対策のため、オンラインで実施した。	8月4日、10月6日、12月16日、3月3日	4		38
		小計					5
若者の学習機会	中高生・若者の企画参加によるワークショップ	夏休み体験教室～本格的な動画を作ろう～	前年に実施したユースフォーラムの企画運営に携わった中学2年生等が北豊島工業高校の協力により動画制作の方法を学んだ。	7月26日、27日	2	生徒・学生・支援者等	8
		夏休み体験教室～ミニ発表会～	北豊島工業高校夏休み体験教室に参加した中学生が作成した動画を大原生涯学習センターの利用者が鑑賞する場を設けた。	8月17日	1		15
		第6回ユースフォーラム「ピアノサロン」	中高生が選んだ曲を講師が演奏した。その後、参加者とプロの演奏家になるためにしてきたことの話を聞いた。	9月4日	1		18
		デュエルマスターズ	中高生の企画によりカードゲームのトーナメントを行った。	10月23日	1		17
		i-youthキャリア学習講座「女子プロサッカー選手になる！チームを支える！」	日テレ・ベレーザの選手及びスタッフがオンラインにより、仕事の内容、プロサッカー界で働くことの意義・楽しさ・大変さなどについての話をしてもらい、受講者と質疑応答を行った。	12月15日	1		22
		小計					6

主催事業実施状況

	講座名	内容	実施日	延べ回数	対象	延べ受講・参加者数	
若者の学習機会	アメリカで日本語を学んで切る 中・高校生とオンラインで交流	カリフォルニア州のフランクリン高校で日本語を学ぶ生徒とオンラインで交流を行った。大学生が交流をサポートした。	9月11日、18日、10月17日、23日、31日、11月7日、13日、20日	8	生徒・学生・支援者等	58	
	小計			8		58	
若者支援	ブックカフェ	本に関心のある人が集まり、読書のきっかけづくりになるようテーマを決め、そのテーマに合う本を図書館から借用し、参加者が話し合い、交流を深めた。	12月24日、1月21日、2月9日、3月24日	4	生徒・学生・支援者等	40	
	キャリア教育	SEの話を聞いてみよう	i-youth利用者に将来のことを聞くと、「企業したい！」「フリーランスで働きたい」という答えを多く耳にした。そこで『はたいたく』の企画メンバーに、起業した人やフリーランスで働く人が数名いるので、システムエンジニアで独立した方の話を聞き、i-youthの利用者と交流する機会を設けた。	12月9日		1	2
	若者の居場所・仲間づくり	あなたがピアニスト	自分がピアノを弾くコンサートを実現したいという中学生の希望により、応募者が10名あった。それをi-youthに来所した中高生が聴いた。	8月21日		1	15
	若者の居場所・仲間づくり	ボードゲーム会	スピード勝負の簡単なゲームや、心理戦、言葉遊びゲームなど、様々な種類のゲームを楽しんだ。初めて顔を合わせたメンバーと一緒に参加する姿が見られた。	8月23日		1	15
		「ギターを弾こう」・・・サークル「ギターアンサンブル」のメンバーさんを迎えて	中学生の希望により、大原生涯学習センターで活動しているシニア世代が指導する講座を開催した。簡単なコードと音階を学び、「カエルの合唱」をみんなで演奏した。また参加メンバーだけで太鼓、ピアノのセッションもあり、生の音を楽しむ時間となった。	12月11日		1	10
		New York Street Piano	「あなたがピアニスト」に続く企画で自由の女神像やニューヨークの街を背景に中高生がピアノを弾いた。また、成増生涯学習センターの社会教育指導員が模範演奏をした。	12月5日		1	21
小計			9		103		

主催事業実施状況

		講座名	内容	実施日	延べ回数	対象	延べ受講・参加者数
若者支援の援助・促進	青少年支援ネットワーク会「いたばし子ども・若者支援ネットワーク会議」世話人会		構成団体から提起された課題や地域の課題を検討し、学習交流会のテーマを決定した。そのテーマに応じた団体等に講師を依頼し、学びあい、ネットワークを拡充する学習に取り組んだ。	4月2日、6月4日、7月2日、8月6日、9月3日、10月1日、11月5日、12月3日、1月14日、2月4日、3月4日	11	支援者・関係団体	119
		小計				11	
現代的課題の学習・サークル公開教室	サークル公開教室	英会話をブラッシュアップしよう	コロナ感染拡大防止のため、参加者への手消毒、検温、健康カードの記入をお願いした。また教室の換気と、一机に一人ずつ座り、アクリル板も使用し、実施した。	5月16日	1	一般	9
		レコードでビートルズを楽しむ	企画及び参加者に用意された資料が好評で、入会希望の方も多かった。	5月23日、7月25日、9月26日、11月28日	4	一般	84
		絵手紙で大切な人に行こう	サークルメンバーが参加者に個別に教え、参加者から大変わかりやすいと評価をいただいた。	11月28日	1	一般	16
		「夏休み親子陶芸体験」	作陶から削り・仕上げまでを各自2個ずつ行い、後日サークルが素焼き、窯出し、釉掛け、本焼き、作品引き渡しまで担った。	8月8日	1	一般	16
		社交ダンス	比較的高齢の方が多かったが、皆さんケガなどトラブルなく楽しく実施した。消毒、検温、ソーシャルディスタンス、換気、マスク着用を徹底した。	10月5日、12日、19日、26日	4	一般	50
		年越し手打ちそば体験	手打ちそば打ち体験を行った。館内での飲食はできないため、そばは保存容器に入れて持ち帰った。	12月12日	2	一般	25
		大正琴	サークルが用意した大正琴を使って、初心者から経験者まで楽しく学んだ。	11月3日	1	一般	5
		小計				14	
現代的課題の学習「就労と育児」	企画・運営会議	1月～2月にかけて開催する働くことと育児を考える講座の企画会議を行った。	9月30日、10月20日、25日、11月8日、25日、3月3日	5	子育て中の保護者・関係者	51	

主催事業実施状況

		講座名	内容	実施日	延べ回数	対象	延べ受講・参加者数
現代的課題の学習・サークル公開教室	現代的課題の学習「育児」	社会も家族もコミュニケーションからはじまる ・『未来につながる自己肯定感』 ・『幸福度の高い国フィンランドに学ぶ対話』	講師から、どのように自己肯定感を高めていくのか、どのように声掛けをしていったらよいのか、事例を交えて具体的があった。 幸福度が高いと言われているフィンランドで行われている『対話』オープンダイアログを体感した。	3月5日、13日	2	子育て中の保護者・関係者	33
		小計				7	
集会事業	集会事業	第5回まなぼーと大原フェスティバル	緊急事態宣言下で行うフェスティバルとなったため、参加団体の協力により感染予防策を講徹底した。その上で充実した利用団体同士及び区民との交流ができた。	6月5日、6日	2	当センター利用団体・一般	539
		第5回まなぼーと大原フェスティバル振り返り会	参加団体への報告、団体からの感想、次回開催に向けてのスケジュール案内などを行った。	6月19日	1	当センター利用団体	17
		第6回まなぼーと大原フェスティバル参加団体打ち合わせ会	第6回の開催について、日時、部屋割り、役割分担などを参加団体に説明して、確認をもらった。今回も引き続きコロナ対策を行うため、事前準備や当日の参加形態についての配慮についても理解が得られた。	1月23日	1	当センター利用団体	29
		小計				4	
地域コミュニティ創造支援	地域共同事業	清水地域活動見本市～MISHO～「SDG s でつながろう」実行委員会	清水地域の施設、機関、団体、市民、NPO法人SDG s いたばしネットワークが連携して「SDG s」を地域で学んでいくワークショップを企画した。	7月8日、9月16日、30日、10月14日、11月9日、25日、12月4日	7	関係者	90
		清水地域活動見本市～MISHO～「SDG s でつながろう」	清水地域活動見本市としては、初めてSDG s をテーマとしてを開催した。展示、パフォーマンス、DVD鑑賞と話し合いなど、各コーナーに分かれて行った。参加団体は20団体。近隣の小中学校3校。ナショナルトレーニングセンターの参加もあった。	12月5日	1	関係者・一般	94
		小計				8	

主催事業実施状況

		講座名	内容	実施日	延べ回数	対象	延べ受講・参加者数
社会参加支援	広場あすなろ	広場あすなろ	軽度の知的障がいのある青年に学習の機会を設けるとともに、障がいの有無にかかわらず、メンバーが互いに学び合う関係をつくることを目指して、事業を実施。新型コロナ感染症の影響で、例年と年間計画を変更して実施した。	6月13日、7月11日、9月12日、10月10日、11月14日、12月12日、1月9日、2月13日、3月13日	18	メンバー・関係者	368
		小計				18	
ボランティア・市民活動	いたばし	第143回ボランティア・市民活動フォーラム「コロナ禍における子ども・若者の声」	コロナ禍がもたらす影響の数々が世代を超えた幅広い議論の中から浮き彫りにされ、私たちの社会が共有してきたものの大切さとよろさが鮮明に見えてきた。大きな影響が出てくるのはむしろこれからではないか、修復していくために何が必要だろうかといった今後の課題を見つけることができた有意義なフォーラムであった。	10月31日	1	一般	38
		ボランティア・市民活動フォーラム「高次脳機能障がい者の支援とその課題を考える」企画・運営	フォーラムで出た課題をもとに、高次脳機能障がい者を介護する家族が直面している課題を挙げて、これからの勉強会の活動内容を検討した。「親なき後」など、介護者がいなくなった時の当事者を心配する声が多かった。	6月13日、8月29日、10月17日、11月14日、12月5日、2月18日、3月31日	7	関係者	52
		ボランティア・市民活動フォーラム「高次脳機能障がい者の支援とその課題自立を目指す」	高次脳機能障がいの支援を考えるため当事者・家族・支援者が参加し、課題を考えるフォーラムを開催した。	3月12日	1	関係者・一般	28
		第144回ボランティア・市民活動フォーラム「メディアリテラシー」	テレビ制作現場に詳しい方から具体的にその理由、面白さ、モラルの問題など今後のテレビのあり方を含め、メディアリテラシーについて考え、話し合う場を共有した。	2月13日	1	一般	11
		第142回ボランティア・市民活動フォーラム「平和について学び・考えるフォーラム」	コロナ禍の紛争地の現状をそれぞれに報告してもらった。ズームハイブリッド形式で、板橋の方たちにもホールで参加して頂き質問を受け付けた。	10月9日	1	一般	109

主催事業実施状況

		講座名	内容	実施日	延べ回数	対象	延べ受講・参加者数	
ボランティア市民活動	いたばし市民活動ボランティアフォーラム	第145回ボランティア・市民活動フォーラム「アフガニスタンの人々とともに一つながりが生む心配する心いま私たちができること」	1部では板橋区民の学習団体とアフガニスタン人の人とのつながりをテーマとした。 2部ではアフガニスタン人女性による今何が起きているかの報告と現地で援助を試みる団体の報告と日本人として何ができるのかを模索した。	2月19日	1	一般	60	
		小計				12		298
ICT学習支援	ICT学習支援者の支援	大原ICTサポート運営会・役員会・総会	各グループの代表・副代表によって構成される連絡会。大原ICTサポートの運営に係わる計画の検討や調整、実施の報告を行った。	4月20日、30日、6月12日、18日、7月9日、18日、8月27日、9月17日、10月22日、11月12日、12月13日、1月14日、2月18日、3月18、31日	15	ボランティアスタッフ	207	
ICT学習支援	児童の支援	ICT学校学習支援	スクールキャラバン定例会	新型コロナウイルス感染により活動の見通しが立たなかった。	7月14日、9月8日、10月13日、11月17日、1月19日、3月16日	6	ボランティアスタッフ	32
		フレンドセンターパソコン教室	緊急事態宣言が解除され10月からPC教室を行った。	10月19日、11月16日、12月20日、2月15日	4	児童	64	
	PTA向けオンライン講座	蓮根小オンライン講座打合せ	蓮根小PTAとZOOM講座の内容について打ち合わせた。ZOOMミーティングの機能を使って、PTAの会合等を円滑に行うため、保護者のスキルアップをしていきたいというPTAの要望があった。スマホしか使用していない保護者向けとすることとした。ICTサポートメンバーは、当日使用するテキストを作成し、説明も行った。	7月30日、9月8日、10月6日、14日、11月29日	5	蓮根小PTA・ボランティアスタッフ	30	
		蓮根小オンライン講座「スマホで参加ZOOMの使い方」	ICTサポートメンバーの指導により、蓮根小PTAを対象に、ZOOM講座を開催した。	12月14日	1	蓮根小PTA・ボランティアスタッフ	12	
		小計				31		345
学校教育支援	平和・人権	アマルの会企画運営講座「あれから76年忘れてはならない記憶」	『あれから76年忘れてはならない記憶』を執筆した大連に生まれ日本に帰ってきて高島平に住んでいる方が生活されている方の話を聞いて感想を語り合った。	11月27日	1	一般	38	

主催事業実施状況

		講座名	内容	実施日	延べ回数	対象	延べ受講・参加者数	
学校 地域 教育 支援	平和・ 人権 教育 支	アマルの会	講座の企画運営、読み聞かせの企画や発声練習、及び平和の絵本の背景の学習など行った。	4月12日、6月14日、7月12日、8月23日、9月13日、10月11日、11月8日、12月13日、1月24日、2月14日、3月28日	11	ボランティア スタッフ	88	
		職 場 体 験	志村第二中学校・職場体験	日頃からi-youthを利用している中学生が職場体験を行った。	7月6日、7日、8日	3	生徒	6
		小計				15		132
大学等 との 連携 事業	大 学   地 域 教 育 連 携 プ ラ ツ	東京家政大学連携 学習会 子どもプログラミング教室	子どもプログラミング教室について、東京家政大学学生とリモートでミーティングを行った。※緊急事態宣言中のため、子どもプログラミング教室は中止となった。	4月26日	1		4	
		家政大学連携 保護者のためのクロー ムブック事始め	G I G Aスクール構想によって小中学校の児童・生徒に配付されたタブレット「クロームブック」を保護者向けに開設する講座を開催した。	12月4日、11日	2		11	
		小計				3		15
合計					151		2629	

まなぼーと成増との共同事業

若 者 支 援	ま な ぼ ー と 成 増 と の 共 同 事 業	i-youthダンスフェスタ	i-youth利用者がダンスの講師となり、ダンスを通して利用者同士が交流する機会を創設した。	3月26日	1	生徒・ 学生・ 支援 者等	116
------------------	---	----------------	--	-------	---	------------------------	-----